

# 明日の日本のために 平成23年7月3日

資料提供 岡山県議会議員 波多 洋治

メルマガ「蘇れ美しい日本」より

## ◎井上政典

### 【菅政権の役割は完全に終わった】

地元福岡選出の松本大臣が辞任しました。

彼の被害者に配慮しない言動が原因ですが、この任命責任を菅直人はどうするのでしょうか？松本元大臣は、復興相に就任するまではどちらかという土地味な役回りでしたが、復興相という大役をおおせつかった瞬間に自分がとても偉くなったように勘違いしたのでしょうか。

民主党の連中は、ほとんどが左翼の集まりであることは周知の事実です。その左翼の思想が支配層と被支配層の二分化が根底あると思います。つまり、政権をとることは自分たちが支配層になり、その他の人々を支配することだと勘違いしているのです。

日本では歴史的にほとんどの時代で支配層と被支配層は対立していません。もちろん天皇陛下と国民は君臣一如で一体化しています。「お上」という考え方は、そのお上を信頼していなければ出てこない言葉だと思います。だから、お上の言うことはきちんと聞くし、私欲を捨てて従うのです。

左翼の連中は「おおみごころ」や「おおみたから」という言葉や概念自体がないのでしょうか。支配階級になれば、何でも命令さえすればそれが実現すると思っているのです。菅直人が盆までに必要な仮設住宅をすべて建設すると明言していました。最高権力者の総理大臣である自分が命令すれば被支配階級の人間は絶対に従うと思っているからです。

だから、自分より階級が下の人間から「やめろ」と大合唱が起こっても「かえるのつらにしょんべん」なのです。彼は階級闘争を勝ちあがって今の地位にいるわけですから、自分を引きずり降ろすのは革命しかないと思っているのです。

小心者の左翼の哀れな末路で、自分の総理大臣としての経歴を穢しているのに気付いていません。そんなことはどうでもいいのですが、居座ること、また東日本の復興が遅れることが大きな問題なのです。

国会では、自民党の石原幹事長が熱弁をふるって菅直人を攻撃していましたが、やはり「かえるのつらに〇〇」でした。

産経でも報じられていたとおり、菅直人は拉致疑惑に関連する人間が所属する団体に献金をしていました（ご存じない方は、ぜひ産経新聞を購読しましょう。ここしか今は信じることのできる報道は為されていません）。日本の国会議員が守るべき日本人に仇する団体に寄付をするなんてどういうことなんでしょう。震災前の外国人献金問題とともにとても総理大臣いや国会議員の資質に関する重要な問題です。

震災復興が第一だったので、あまり攻撃を控えてきましたが、松本元大臣が辞任したことで、菅政権下では復興は不可能だということが国民の前で明確になりました。こんなこといちいち書かなくてもいいことだとは思いますが、本当に我慢できません。

菅直人が日本国の総理大臣であることが最大の利敵行為であるから反逆罪がもしあるのなら、いの一番に適用されるべきであります。

民主党の内部からも見放されているといいますが、先の不信任決議に反対した民主党の国会議員がいくら遠吠えをしてももう誰も耳をかさないでしょう。処分された松木議員と横糸議員のみが言う権利があると思います。不信任決議に反対票を投じた民主党の国会議員は、菅直人と心中をするつもりで政権運営に当たらずして、何の責任与党でしょうか。

これではまったくの「無責任与党」ではないか。自分の行動に対して何の責任も持たない烏合の衆が政権を持つことが国益に反することだと思わないのか。心ある民主党議員は速やかに離党せよ。そして、自分の不明を国民に詫び、一から日本国のために働く国会議員になると誓えば、また次の選挙で国会に戻ってこられるでしょう。

次の選挙で菅や鳩山や小沢はじめとする売国奴たちが国会に戻ることがあれば、その選挙区の有権者が一番の犯罪者だと思う。心ある方々は、今を耐え今後の選挙で彼らを落選させるように一人でも多くの賛同者を増やす活動をするのが、今市井でできる活動だと思いませんか。

自分の意見にせめて10人くらいの賛同者があるような地道な活動をしていけば、遠回りになりますが、確実に美しい日本を甦らせることになると思います。